

様式第2号（概要）（学部学科等の課程）

認定を受けようとする大学の課程の概要

大学名	相模女子大学（学部学科等の課程）							
設置者名	学校法人相模女子大学							
大学の位置	神奈川県相模原市南区文京2-1-1							
学部名	学科等名	入学定員	設置年度	認定を受けようとする 免許状の種類 (免許教科・領域)	現在認定を受けている免許状の種類（免許教科・領域） (認定年度)			
					幼・小	中・高	特支	養教・栄教
学芸学部	日本語日本文学科	110	昭和24年度			中一種免（国語） （令和元年度） 高一種免（国語） （令和元年度） 高一種免（書道） （令和元年度）		
	英語文化コミュニケーション学科	110	昭和42年度			中一種免（英語） （令和元年度） 高一種免（英語） （令和元年度）		
	子ども教育学科	100	平成20年度		幼一種免 （令和元年度） 小一種免 （令和元年度）		特支一種免 （知・肢・病） （令和元年度）	
	メディア情報学科	95	平成20年度			高一種免（情報） （令和元年度）		
栄養科学部	健康栄養学科	80	平成20年度	中一種免 （保健体育） 高一種免 （保健体育）		中一種免（家庭） （令和元年度） 高一種免（家庭） （令和元年度）		
	管理栄養学科	100	平成20年度					栄教一種免 （令和元年度）
入学定員合計		595						
備考	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度より、学芸学部日本語日本文学科の入学定員を130名から110名に変更予定。 令和6年度より、学芸学部英語文化コミュニケーション学科の入学定員を120名から110名に変更予定。 令和6年度より、学芸学部メディア情報学科の入学定員を80名から95名に変更予定。 							

様式第2号 (中・教科及び教科の指導法に関する科目)

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織 (中・教科及び教科の指導法に関する科目)

認定を受けようとする学部・学科等	栄養科学部	健康栄養学科	入学定員 80	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 28単位			2. 学位 学士(栄養学)		3. 学位又は学科の分野 家政関係			
認定を受けようとする免許状の種類(免許教科)	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員				備考	
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		共通開設		教授	准教授	講師		助教
				必修	選択	学校種等	学科等					
中一種免 (保健体育)	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	体育実技	体育実技(陸上)	1		高(保健体育)	同					2科目選択必修
			体育実技(水泳)	1		高(保健体育)	同					
			体育実技(体づくり運動・器械運動)	1		高(保健体育)	同					
			体育実技(武道)	1		高(保健体育)	同					
			体育実技(球技)	1		高(保健体育)	同					
			体育実技(ダンス)	1		高(保健体育)	同					
			地域健康スポーツ演習	1	1	高(保健体育)	同		笹田周作			
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	体育原理	2		高(保健体育)	同						
		体育心理学	2		高(保健体育)	同						
		体育経営管理学	2		高(保健体育)	同						
		スポーツ社会学(体育社会学を含む)	2		高(保健体育)	同						
		体育史	2		高(保健体育)	同						
		運動学(運動方法学を含む)	2		高(保健体育)	同						
		生理学(運動生理学を含む。)	運動生理学	2		高(保健体育)	同		(笹田周作)			
	運動生理学・トレーニング実習		1	1	高(保健体育)	同		(笹田周作)				
	解剖生理学		2		高(保健体育)	同		奥村裕司				
	解剖生理学実習		1		高(保健体育)	同		(奥村裕司)				
	運動栄養学		2		高(保健体育)	同		柳沢(久木留)香純				
	スポーツ栄養学		2		高(保健体育)	同		(柳沢(久木留)香純)				
	衛生学・公衆衛生学	公衆衛生学	2		高(保健体育)	同						
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全を含む。)		2		高(保健体育)	同							
スポーツ医学(救急処置を含む。)		2		高(保健体育)	同							
保健体育科教育法(中) I		2					木村昌彦					
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	保健体育科教育法(中) II	2					(木村昌彦)					
	保健体育科教育法(中・高) I	2		高(保健体育)	同		(木村昌彦)					
	保健体育科教育法(中・高) II	2		高(保健体育)	同		(木村昌彦)					

●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数	36単位
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数(他学科等が開設した授業科目の単位数を記載)	0単位
C. 教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む)	35単位
D. 教員の免許状取得のための選択科目	9単位
E. 「開設授業科目の合計単位数」(C+D) - 「免許状取得に必要な最低修得単位数」	16単位

●教職専任教員数(教科に関する専門的事項)	3人
●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項)	3人

※教職専任教員数には「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」の教職専任教員は含まないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）													
認定を受けようとする学部・学科等	栄養科学部	健康栄養学科	入学定員	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数				2. 学 位		3. 学位又は学科の分野			
			80	教科及び教科の指導法に関する科目 24単位				学 士（栄養学）		家政関係			
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目					教職専任教員				備考	
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		共通開設		教授	准教授	講師	助教		
高一種免 (保健体育)	教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	体育実技	体育実技（陸上）	1		中 (保健体育)	同					2科目選択必修	
			体育実技（水泳）	1		中 (保健体育)	同						
			体育実技（体づくり運動・器械運動）	1		中 (保健体育)	同						
			体育実技（武道）	1		中 (保健体育)	同						
			体育実技（球技）	1		中 (保健体育)	同						
			体育実技（ダンス）	1		中 (保健体育)	同						
			地域健康スポーツ演習	1	1	中 (保健体育)	同	笹田周作					
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	体育原理	2		中 (保健体育)	同						
			体育心理学	2		中 (保健体育)	同						
			体育経営管理学	2		中 (保健体育)	同						
			スポーツ社会学（体育社会学を含む）	2		中 (保健体育)	同						
			体育史	2		中 (保健体育)	同						
			運動学（運動方法学を含む）	2		中 (保健体育)	同						
		生理学（運動生理学を含む。）	運動生理学	2		中 (保健体育)	同		（笹田周作）				
			運動生理学・トレーニング実習	1	1	中 (保健体育)	同		（笹田周作）				
解剖生理学	2			中 (保健体育)	同		奥村裕司						
解剖生理学実習	1			中 (保健体育)	同		（奥村裕司）						
運動栄養学	2			中 (保健体育)	同		（藤沢（久木留）香絵）						
スポーツ栄養学	2			中 (保健体育)	同		（藤沢（久木留）香絵）						
衛生学・公衆衛生学	公衆衛生学	2		中 (保健体育)	同								
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	2		中 (保健体育)	同								
	スポーツ医学（救急処置を含む。）	2		中 (保健体育)	同								
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目													
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			保健体育科教育法（中・高）Ⅰ	2		中 (保健体育)	同	木村昌彦					
			保健体育科教育法（中・高）Ⅱ	2		中 (保健体育)	同	（木村昌彦）					
<p>●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 36単位</p> <p>B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数（他学科等が開設した授業科目の単位数を記載） 0単位</p> <p>C. 教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 31単位</p> <p>D. 教員の免許状取得のための選択科目 9単位</p> <p>E. 「開設授業科目の合計単位数」(C+D) - 「免許状取得に必要な最低修得単位数」 16単位</p>						<p>●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人</p> <p>●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人</p>							

※教職専任教員数には「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の教職専任教員は含まないこと。

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（中・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	栄養科学部	健康栄養学科	入学定員 80	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 4単位	2. 学 位 学 士（栄養学）	3. 学位又は学科の分野 家政関係
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
			必修	選択		
中一種免 (保健体育)	大学が独自に設定する科目					最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）			0単位		
	・教員の免許状取得のための選択科目			0単位		
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超過している単位数の合計			21単位		

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（高・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	栄養科学部	健康栄養学科	入学定員 80	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学 位 学 士（栄養学）	3. 学位又は学科の分野 家政関係
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
高一種免 (保健体育)	大学が独自に設定する科目					
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）			0単位		
	・教員の免許状取得のための選択科目			0単位		
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計			23単位		

様式第2号（第66条の6に定める科目）

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目						
認定を受けようとする 学部・学科等	栄養科学部	健康栄養学科	入学定員 80	学 位 学 士（栄養学）	学位又は学科の分野 家政関係	
免許法施行規則に定める 科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目			備 考	
		授業科目	単位数			
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2			
体育	2	球技スポーツ ラケットスポーツ 健康スポーツ シーズンスポーツ		1 1 1 1		2単位選択必修
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国／朝鮮語Ⅰ 韓国／朝鮮語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ イタリア語Ⅰ イタリア語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		2単位選択必修
数理、データ 活用及び人工 知能に関する 科目又は情報 機器の操作	2	数理、データ活用及び 人工知能に関する科目				
情報機器の操作		コンピュータリテラシー	2			

様式第2号 (中高・教育の基礎的理解に関する科目等)

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織 (中高・教育の基礎的理解に関する科目等)														
認定を受けようとする学部・学科等	栄養科学部		健康栄養学科	入学定員合計	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教育の基礎的理解に関する科目等 中一種免27単位、高一種免23単位			2. 認定を受けようとする免許状の種類 中高一種免 (保健体育)						
開設体制	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			教職専任教員				備考			
	科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	共通開設 学校種等	教授	准教授	講師	助教				
大学において 共通開設 共通開設する 学科等の入学 定員の合計 (今回申請する 学科等以外 も含む。) 495人	教育の 基礎的 理解に 関する 科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育の原理	2	栄					中免のみ			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職論	2	栄	富田充保							
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度	2	栄								
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	栄								
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2	栄								
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		カリキュラム論	1	栄	松永幸子							
	道徳、 総合的 な学習 の時間 の指導 法 教育 実践 等 に 関 する 科 目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育論	2	栄	(松永幸子)							
		総合的な学習 (探究) の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導	2	栄								
		特別活動の指導法		特別活動論	2	栄	(松永幸子)							
		教育の方法及び技術		教育方法論	1	栄	(松永幸子)							
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術の活用	1									
		生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導	2	栄	(富田充保)			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む				
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法		教育相談	2	栄								
	教育 実践 に 関 する 科 目	教育実習	中5 高3	教育実習 I	4		(富田充保)					中一種免については「教育実習 I」必修、高一種免については「教育実習 I」「教育実習 II」から1科目選択必修		
				教育実習 II	2		(松永幸子)							
				事前・事後指導	1		(富田充保) (松永幸子)							
		学校体験活動												
		教職実践演習		2	教職実践演習 (中・高)	2		(富田充保) (松永幸子)						
	●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目 ・開設授業科目の合計単位数－免許状取得に必要な最低修得単位数			中30単位／高26単位 中2単位／高4単位 中5単位／高7単位			●教職専任教員数 (教育の基礎的理解に関する科目等) ●教職専任教員数 (各教科の指導法) ●必要教職専任教員数				中2人／高2人 中 (保健体育) 1人 ／高 (保健体育) 1人 中2人／高2人		

※教職専任教員欄の網掛けは消去しないこと。